

佐野市の小学生が市議会(一般質問)を傍聴しました



学校における社会科教育の一環として、市政や議会に対する理解と関心を深めることを目的に、12月11日に山形小学校の6年生(9名)と佐野小学校の6年生(47名)が市議会を傍聴しました。11日は一般質問が行われており、議員が市政について質問し、市の執行部が答弁するやりとりに熱心に耳を傾けていました。

傍聴者の声



山形小学校 6年
福嶋ひなのさん

私は、市議会をばう聴して市議会議員の方々の大変さを感じました。ふ段見る機会の少ない貴重な議会の様子を、実際にばう聴することができ、うれしかったです。

以前、佐野市は、台風19号のため多くの被害を受けました。多くの市民が被害のため、辛い思いをしました。

議場では、このような被害をもたらした台風19号の経験を生かして、これからの災害対策などをどのように工夫していくかを話し合っていました。市議会議員の方一人一人が、自分の意見を明確に伝えていた様子ばう聴して、心からすごいと思いました。そして、議会に参加している全員が私たち市民のことを考えてくれていることが伝わってきました。

また、議会では、決められた発言時間内に発言をしなければならぬことも知ることができました。

このようなことから、私は市議会議員のみなさんが、私たち市民のよりよい生活のために一生懸命に働いてくださっていることを感じました。私も、佐野市のために自分ができることを精一ぱい努力していきたいと思っています。



佐野小学校 6年
滝口 紗菜さん

わたしたちは、市役所で行われた佐野市議会を見学させてもらいました。

見学をしてみて、市議会議員のみなさんが、市民のことや、災害にあった人たちのことを考えて話し合いをしているのが、ひしひしと伝わってきました。緊張感がとてもあり、本当に真面目に問題を解決しようと思っ取組んでいることも分かりました。

佐野市に住んでいる一人として考えてみても、この話し合いはとても印象深く、心に残りました。

佐野市をより良くしたり、災害にあった人たちのために話し合ったりしているのを見て、わたしも大人になったら、必ず選挙に行き、自分たちの代表になる人を選ぶことで、良い佐野市をつくるのに、こうけんしたいと思いました。ありがとうございました。

新春号の案内



議会だより新春号は、佐野市議会ホームページでの配信のみです。全市議会議員の新年の抱負が掲載してありますので、ぜひご覧ください。

佐野市議会だより

検索

